

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切にしている子育て環境)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 一般不妊治療費助成はいいことだと思います。
2. 予算を組む上で、例年通りのルーチンでは意味がない。より柔軟な対応ができるのは民間だが、消滅可能性地域に参入する事業者も子育て関連で内発的に始まる市民団体のようなものも見込めないのであれば、行政が多地域の先進的な行政サービスを模倣するでもいい。今は心の豊かさに価値を置いて行動する子育て世代が多い時代で、多少不便でも心の豊かさのある地域を居住地に選ぶ。この地域はそういう豊かさがあるので、これ以上子育て世代が流出しないようにすることと、魅力を感じて来てくれる子育て世代が失望しないように受け皿を充実することに重きを置くと良い。特に、観光地であるこの地域の働き方は土日祝に子どもを預かる所が必要なため、その休日保育の整備をすすめてはどうか。
3. 放課後児童クラブの取り組みについて詳しく知りたいと思いました。充実とはどの程度のものなのかも知りたいです。
4. 離島にも放課後の児童クラブ等があればいいなと思う。
5. 小中一貫校を地域ごとに(師崎、豊浜、内海)地域ごとの特色を強く打ち出し、南知多町で教育を受けさせたいと思わせる。
6. 廃校、廃園になる場所を生かした事が出来ないか。
7. 人口減少対策に最重点政策とする。
8. 子育てサービスの拡充はもちろんだが、その情報の提供や紹介を専門とする”子育てコンシェルジュ”部門を設置してはどうか。広く町民に認知させ、気軽に相談できる窓口とする。
9. 子ども医療費の不妊治療費に関して、全国的に妊娠できない夫婦は増えていて、治療による金の補助をすれば解決するとは思えない部分がある。お金を出すだけではなく、なぜ不妊なのか、その原因の解明を国がもっと力を入れてやってもらうように働きかけて欲しい。糖質摂り過ぎを改善したら妊娠できた例があったり、最前線では解決法が提示されていたりする。(TV(NHK)でも放送されていた)お金のばらまきは財政の不健康となり得るので、長い目ではあるが「元を正す」方向にも向かって欲しい。
10. 若い子育て世代は、SNSで不安や不便さを共有して解決できる環境にしてやるのが大切かと思います。地域の中で富や資産を分配して共有して安心して暮らせる環境を創れたらいいと思います。
11. 保育所に入所前の子育て中、美容院、歯医者など時間単位で気軽に預けられる半田市の子育て支援センターを利用していた。その時は町内でも一週間前の予約ではなく、そういったサービスがあれば良いと思っていました。
12. 昨年、小学校、中学校の統合問題が出され、小学校の統合が決定されました。保育園から小学校は、子育ての最も重要な条件です。学校を廃止することにより、子育て生活が大きく変化せざるを得ません。父母や地域の皆さんは、もっと話し合いを継続することを望みました。
13. 保育、児童クラブは年齢や定員縛り、優先順位で入れない場合がある為、希望者は全員入れるようになるといいです。
14. 自営業なので、妊娠出産したら働けず収入が激減してしまう。会社勤めであれば産休育休があるが、自営業者やフリーランスは妊娠出産期間の部分的な所得補償や出産交付金などが無いと急な収入減に対応できないため、出産に踏み切れない。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切にしている子育て環境)

【モニターつづき】

■具体的な要望等

15. 一時保育がクイックに利用できない。利用して欲しくなさそう。
16. 病児保育がない。美浜町は役場で病後保育があるが、それを南知多と協働させてもらえないか。
17. 土日が忙しい観光業も多く、農業漁業にも土日は無いのに、土日に預ける先がない。
18. 職員の方と接していると、「保育のサービスは有限で、受けられるのは限定した対象者だけ。対象者を絞って行政サービスを節約したい」と感じる。それが影響してなのか保育の現場も「保護者を甘やかさないように」というギスギスした空気を感じる。子育て政策に予算とマンパワーを割いてほしい。

■抽象的な提案、意見等

19. 家にも小さい子供がいないので、触れ合う時がありません。あったら良いなと思います。
20. 内海地区は子供の姿が多くなり、楽しみが増えた。
21. 子育て世代の職場環境(選択)が不足してると思う。
22. 特に子供を持つ世代に特化し、特別会計を計上し、マスコミ報道されるような先進的な、保・小・中の学生支援や世帯定住支援の推進に財政投入。
23. 子育て支援が町内外に浸透すれば、子育て世帯の流入も期待。
24. 財政資金は、学校統合を計画した積み立て基金を原資
25. 年のいった人たちに対しては現状と将来の生活と健康といったものを安心して暮らせるように整備していくことが大切だと思います。資産やお金があっても子供たちや家族がいない生活を不安と思っている人がたくさんいると思います。そんな人たちに自治体や地域の人たちが助け合い生活状態をお互いに把握できると安心して暮らせるかと思います。
26. 子供は自然に減少してきたのだから仕方がない。今いる子供の環境整備はある程度の対応は必要だが、過剰にしないこと。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切に子育て環境)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

27. 中学校が早く統合することを強く望みます。
28. 南知多町もファミリーサポートを導入してほしいです。
29. 子育て支援もですがその前に出生率が年々低くなっている原因に目を向けた方がいいと思います。移住しても特に得な事もないし、魅力がなければ地元の人でも離れるし、移住する人も来ないと思います。
30. 子育て世代の移住者の受け入れをもっと積極的に行い、町からや他県から家族に来てもらって、人口増加させる。それで実際に住んでくれた移住者が、地域に溶け込みやすいように、移住者窓口を設けて、安心して生活が営める支援をすると良いと思う。
31. 自営業の方が保育園に入ることができなかつたと聞きました。子どもを見ながら自営業の仕事なんかできないです。もっと子育てしやすい町にしてください。
32. 子育てサロンのような場所、相談できる場所があるといい。子どもが遊べる公園をもっと作ってほしい。
33. 親子とも自然に触れ合う機会が少ない。自然に触れ合うイベントや施設がほしい。未就園児とその親が遊んだり、学んだりする機会が少ない。公園、児童館、図書館、科学館、美術館、運動場を担う施設がほしい。
34. 保育所は働く親への配慮が足りない。保護者の満足度は低い。利用者のニーズを汲み取り、満足度の高い保育ができれば、子育て世代の転入が期待できると思う。

35. 家が密集して建っており、道路が狭くて生活のしづらさを感じるので、区画整理ができないか。
36. 高校生への支援を増やしてほしい。通学圏を考慮した交通手段を確保してほしい。

■抽象的な提案、意見等

37. 町内に働く場所を増やしたい。
38. 関係人口に関する取組みを町内外の方と楽しんで行いたい。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-2 次代の担い手を育む教育環境)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 世界や価値観や常識、教育やコミュニケーションのあり方まで大きく変化し変遷している過渡期において、予め「こうである」と決めて、数年後に実行...なんて、子どもたちにとっても適応力や創造性を高める機会を奪うことになりかねない。行政のあり方そのものも変えて、都度反映するような教育のカチを検討してみてもどうか。例としては、各地区の小学校跡地などを復活(リノベーション)させ、「サテライト」として利用。ウェブ上で交流し、学び、高め合い、地区ごとのサテライトで地域の繋がりをや地域の交流を産むなど。他に、地区ごとに保育所から中学、高齢者施設まで一体化した「サテライト」を整備。教師だけに頼らない、縦横の繋がりを生かして助け合う。地区を越えた繋がりはウェブネットワークで。ウェブでもかおを合わせながらの交流はもはやスタンダード。
2. 学校給食にオーガニック野菜を取り入れる動きが契約まで漕ぎついたことを先日聞きました。とても良い取組みに実現する日が待ち遠しいです。
3. 学校は1ヶ所にまとめるではなく、各地区の学校を小規模整備。自然に減少しているのだから力を入れ過ぎないようにする。
4. 社会性は家庭での教育、環境の影響が大きいと思う。使う教科書とか、教員の質などを重点的に力を入れてほしい。地元が廃れれば伝える文化も無くなる。中学区単位で残すべきだ。
5. 町の教育振興は重要だが、過度な期待と関与で各学校の先生方の負担を増やすようなことがあってはいけない。また、中学校の職業体験を受け入れたことが何度かあるが、「先生に言われたから...」「内申のために...」という感じで地域の労働そのものにはほぼ関心がないという感じだった(まあ自分自身もそうだったが...)。地元が田舎であると卑下する子供ほど都会に出ていきたり、また地元への無関心に繋がっている。田舎だからこそその可能性を示し、子供たちの盲目的なマイナス思考を取り除くことが肝要。
6. 人数が少ない分、生徒、親、先生との距離感が近く、その点では満足しています。しかし、少人数のデメリットも多々感じており、統合は必要だと思います。
7. 学校給食に「yaotomi」からの野菜の採決、ありがとうございます。採択と共に、子どもたちに全国的に見ても豊かな地産品を持つ南知多町の農・漁業(特に農業)について、学ぶ機会を増やして欲しい。事業者に(yaotomi・みなみちたフルーツ・魚の学校・牛小屋など)授業に来てもらって欲しい。
8. 小学校、中学校不登校のある日間賀と内海の生徒と家族から話を聞く機会があり、登校できない理由の1つに友達関係で行けなくなり、クラス替えがないからと言っていた。実際に自分の子供も山海小が統合されるときには、地元保育所も小学校もなくなり余計にさびれてしまうと反対したが、今となっては良かったと思う。実際に自分の子供の1学年下は男子数人しかいなかった。そうならないように、一刻も早く、中学校が統合されることを願うばかり。美浜町のように小中一貫の校舎、将来的には保育所も同じ敷地になってほしい。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-2 次代の担い手を育む教育環境)

【モニターつづき】

■具体的な要望等

9. 家庭で働いている親がいたら、学習支援などをして欲しい。習い事も限られる。
10. 教育はとても重要で地域だけではなく国家全体の将来に対して非常に重要だと思います。まずは学校を統地域の共同生活者の一員をいうことと道徳の基本をつけ地元を愛せられるように育てて将来は地元に戻ってきて地域の産業を豊かにするように育てられればいいと思います。
11. 基本施策1-1に続くもので、学校統合は、地域に住みたい、住み続けたい希望を閉ざすもので、慎重な討議が必要だと思います。
12. 岐阜市に不登校専門公立校が開校し40人の定員に対して120人が説明会に参加して話題だが、親のリモートワークが進む中で子供に合った学校を選んで移住したいと考える人は多い。南知多の豊かな自然環境で子育てしたい移住者を呼び込むだけでなく、こうした取り組みが「子供たちの多様な成長を応援できる」豊かな教育環境と町づくりに繋がる。大井小学校を利用して南知多も不登校専門特例校を作れないか。

■抽象的な提案、意見等

13. 農業、漁業、観光業その他、地域を生かしたブランド造りをして後継者につなぎ、南知多町の発展をめざしたい。
14. 寺子屋的な物を作ってみては。
15. 毎回総合計画で人口減少の政策を掲げるが、ストップできてない、かけ声だけ。
16. 本当に子供達を見かけないので、みまもりもできないですね。
17. 地区の意識は高いが、積極的なアピールが不足している。もっと、きめ細かい勧誘やPRが大切だと思う。また、既存の組織ではなく、新しい組織を創造する必要がある。
18. とにかく、子ども達が安全な場所で、安心して学べる環境をまずは整えて欲しいです。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-2 次代の担い手を育む教育環境)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

19. 少子高齢化が進み 南知多町はとても子供の人数が少ないです。保育園、学校等少ない人数で目が行き届くのはいいですが子供達の将来の為には保育園統合、小中一貫校にした方が良くと思います。
20. 人が減ってます。特に子どもが減ってます。この先も減ると思います。子どものいない学校を作らないでください。南知多に残る人が支えたいような学校にしてください。
21. 不登校児の受け入れ先が、リフレッシュスクールだけではなく、これから廃校になっていく校舎なども利用して、新しい魅力的な形の(岐阜県の不登校児受け入れのための学校のような)学校を作り、そこもアピールポイントにして、町からの移住者を募る。大人が育てたい子ども像ではなく、子どもがなりたい大人像がある町になったらとても魅力的な町になる。
22. 楽しく豊かに働く大人がたくさんいる町。そのために、さまざまな項目が独立しているのではなく、保育園や学校の先生方の働く環境を充実させたり、働き先の漁業、農業、商工会、新規事業をしやすくするなど、すべての連携を測ることが重要だと思う。
23. 子供が通う中学校が、通学に一時間もかかるとしたら、そうまでしてこの地域に住みつけようとは思わない。この事によって、ますます人口は減ると思う。南知多町の皆が通いやすい学校を目指してほしい。
24. 中学を適正規模化するという概念自体がおかしい。いちばん大切なのは教育方針。その教育方針に叶う規模が適正規模だと思う。教育方針、地域性、子どもの個性によって、適正規模は違うはず。適正化するなら、その規模に見合った方針を打ち立てるべき。
25. 地域の高齢者の郷愁ではなくいまの子供の環境を最も重要視するべき。
26. 少ない人数だからこそ、他の町より教育設備に投資してほしい。タブレットの導入など。
27. 教育委員会や各学校が必要としている具体的な協力内容を発信してほしい
28. 子どもたちが町のために実現したいことを理解する。実現したいことが無いようなら、保護者、学校とともに子どもたちの実現したいことを創り出す支援をする。という考え方があっても良いと思う。(町を担わせる子どもを大人が育てる。)
29. 教育というと、統合問題がありますが、教育を受ける子供のことを考えて意見交換がなされているように見えません。

■抽象的な提案、意見等

30. 小規模校の統合は仕方ないが、地域性の違いがある校での統合はどうかと思います。師崎区と大井区では昔から性格が合わない。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-3 生涯通じて取り組む健康づくり)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 地域での医療機関は地域の死活問題だと思います。知多厚生病院のような施設は絶対に欠かせないと思います。存続とIT化によって医師不足を解決して質の高い医療体制を知多半島全体で気づいていけるとよいと思います。
2. 自分が糖尿病なので、若者に運動の必要性や暴飲暴食を控えるよう伝え生活習慣病の恐さをお知らせしています。
3. 基本的な活動はしているが、もっと積極的なアピールが必要だ。広報でアピールするとともに、責任分担者が足で活動する地道な取り組みが不足している。ある団体に委嘱しているとか、任せているといった他人任せの姿勢が見られる。
4. コロナ対策など、町民の知りたい情報をもっと提供するべきだと思います。また、国保料や介護保険料が、県下第1位で国保や介護運営協議会を住民代表を含めた運営にするべきで、特に議員が入っている委員会などは、町民無視の運営で改善すべきです。
5. 診療所は、1歳未満は診てくるだけで、島外に行かないといけない。
6. 近場の医師の質が良くないので、近隣市町の医療機関とも提携して、予防接種なども行きやすくして欲しい。煩雑さをなくして欲しい。
7. 診療所(離島の場合)毎日居て行って頂きたい。曜日が決まったら、結局自分たちで救急の場合行かなければならない。
8. 国保料金引き下げ。

9. 他がやっている良いことはどんどん取り入れていくべき

10. 町内に大規模な企業が誘致されていないので、税収入が見込めないのか、住民の税金が高額。

11. 仕事で、診療時間内に間に合わず受診できない事がほとんどです。緊急性も無いため夜間救急外来に行くのもためらってしまいます。診療時間がもう少し長く、気軽に受診出来るといいです。

■抽象的な提案、意見等

12. 子供達に頼れないので、夫婦で努力しています。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-3 生涯通じて取り組む健康づくり)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

13. 今後、地域の医療施設が減っていかないか、心配。今まで頼りにしていた、知多厚生も規模が縮小しており、不安を感じる。大岩医院のように、月に数回でも皮膚科の先生がくるなど、専門の先生がきてもらえるとありがたいです。
14. 半田市や美浜町など知多半島南部の市町としっかり連携して欲しい。
15. 適度に体を動かすための機会や場所、設備が足りない。公共の運動公園や体育施設を充実させてほしい。他地域の人も利用したいと思うようなものがあれば、町の活性化にもつながると思う。

■抽象的な提案、意見等

16. たばこのマナーなどまだまだ。
17. 健康づくりは、住民の意識改革が必要だと思います。大変ですが。。。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-4 個性を活かす障がい者福祉)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 私の回りでも町内の介護施設を本当に必要としているのに、なかなか施設さんに預かっていただけず、苦勞している方は見えます。住宅訪問などして、現状をみまわってみてもいいかと思えます。
2. 後期高齢者の生活が苦しい(国民年金から保険金が天引)の収入で生活している世帯。
3. 実収入では生活保護者より劣るのではと、多くの後期高齢者が疑問におもっている。
4. 先日の日経で北九州市にあるサンアクアTOTOが紹介されていたが、障がいを持っていても仕事への働き甲斐や自負心を醸成できるような場所が増えれば良いと思う。
5. 住民の意識向上のための施策を進めるのは机上でなく行動で拡げたい。
6. お年寄りの現在の生活と不安を除くのが町の役割だし自治体主導でしかできないと思えます。
7. どのようなサービスや助成があるのか、問い合わせしないと分からない。サービスや助成の対象のことも申請前に済んでしまった事は対象外になってしまうので、もっと分かりやすく利用できるように周知が必要だと思えます。

■抽象的な提案、意見等

8. ご時世、精神障害者への支援も充実してあげて欲しいです。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-4 個性を活かす障がい者福祉)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

9. グループホームなどの施設が少ない。障がいのある人が親に頼らず働いて自立できるようにすべき。
10. 障害者を支援する施設が存在していることすら一般の人にはあまり知られていない。どんなことをしているのか、その充実度を町内外に知ってもらえれば、人口増につながると思う。
11. すいせんひろばの立地場所が住宅地から離れすぎている。関係者以外が行く機会がない。南知多町にはすいせんひろばがある事、障害者がいる事を発信し、知ってもらうことが必要ではないか。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-5 安心して住み続けられる長寿社会)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 現代、高齢者といっても60代、70代はお元気です。リタイアされた方々が、地域のためや、人を助けるというシルバー人材派遣の活動を広げてはどうでしょうか。
2. 子育てと同様に、相談先として分かりやすい窓口を設置してほしい。
3. 個人的な事ですが、父の老人会、他の方の提出資料を今年作りました。70代の方だとパソコンが使えない方も多く、助成金をいただく資料作成も大変だと思いました。もう少し簡素化できると良いと思います。
4. 寿命は必ずつきるし、お年寄りの健康はある程度でしか維持できないと思うのでまずはいかにしたら安心できる社会を構築できるかが問題だと思います。不安や不便を取り除けることをアンケートにとって実施してみたらなにか見えてくるように思います。
5. 自分で買い物に行けなくなる時が来ると思うので、必要なことだと思う。
6. 日々の病院・買い物など、足がなくて行けない一人暮らしのお年寄りを助ける手立てを！ワクチン接種でも、一人暮らしで足のない方は置き去り、バスやタクシーを出すなど手だてを取って欲しい。
7. 活動をしていても、役場関係者との交流はない。役場の人は、どこまで地区に入り込んでいるのか疑問だ。現場を見てほしい。

8. 高齢者、子どもの見守り学習支援はすごくして頂きたい。
9. 子供とお年寄りが交流できる場があれば良いなと思う。
10. 60歳からは働かなくても安心して暮らせる町に、国にしなければならぬ。きちんと60歳から年金受給できるようにすることが子育て支援、健康維持政策になる。
11. 老人クラブの役員が地域で一番忙しそうです。役員を決めるのが一苦労だそうです。さっと集まって済んだら即解散できる除草作業のボランティア活動もいいのでは。
12. 各地区で実情は異なるが私の地区では、高齢者(65才以上)の女性はカラオケ・グランドゴルフ・太極拳等積極的に活動しているが男性は朝・夕の散歩くらいである。
13. 男性も活動してみたいと思える、アイデアを発信出来る人材を望む。

■抽象的な提案、意見等

14. 老人ばかりなので、早急に取り組むべき。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-5 安心して住み続けられる長寿社会)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

15. 年金暮らしのお年寄りが、安心して暮らせる生活支援があると良いと思う。
16. 海っ子バスのバス停は、たとえ乗る人が少なくとも要望があればその地域に作るべきです。そのための地域バスのはずです。
17. 予算事業の内容の認知度が低いと思う。将来、どんなサービスが受けられるのかがわかれば、若年層の安心感につながると思う。
18. 高齢化率が高いことを理由にDXを躊躇すべきでは無い。デジタル格差を減らすことに着目するのではなく、デジタルの利便性を伝えることに注力すべきと考える。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 町内危険箇所の把握を、古いデータを毎年見更新するのではなく、毎年見回りをして住民の声をもとに町内の安全を守っていただきたい。
2. 県には森と緑づくり税等があって、行政で独自の取り組みを提案しても要綱通りであれば交付金で実行したり整備したりできる。提案し新たな業務として遂行できるような余裕のある職員がいないのではないかと。自然を求めて、学びを求めて観光に来る人たちを気持ち良く受け入れる場所がほとんどない。もったいない！様々な交付金や補助金もあり、自然公園地域でもある。太陽光発電の乱開発に何の手を打てないまま景観を損ねて行くくらいならば、多少荒れた里山でも、手入れをし、公園化し、町(行政)で管理しても良いのではないかと。事例ならばある。きっと、働き盛りの子育て世代を招き入れるにはこういった一見子育てと関係なさそうな取り組みが大きく影響すると当事者世代は思う。
3. 皆が困っているゴミ分別の労力、費用負担をなくすため、暮らしやすい町づくり推進事業費へ改正。
4. 太陽光パネルの設置を禁止しろ。環境破壊させてるくせにこんな質問するな。
5. 各地区も空き家対策で苦慮しているので、空き家リホームプロゼクトを企画する。
6. ウォーキングコースの開発。
7. 建築学科のある大学の学生ゼミでリホームする空き家を提供し実技を体験し完成させる。
8. 各地区で1軒をリホームしてコンテストして各大学競わせる(メディアに発信)。
9. コロナ禍で屋内より、屋外に目を向けるという意味で自然に触れ合う事は大切だと思う。美しい自然は観光へもつながるのでは。
10. 建前は自然に囲まれた生活だが、現代人としての便利な暮らしは手放したくないという本音は存在する。例えばwi-fiの整備。ワーケーションにはもちろん田舎暮らしをSNSにアップするにも必須。未整備の旅館ホテルや商業施設などに補助金を出すべき(美浜町はずでにしています！)
11. 整備された観光地が増えると良いと思う。貝がら公園など。
12. 移住も必要だが、自分の住む町の魅力を知って、若い人が定住することがとても大切。嫁や婿を連れてくる。都会からのリターン。
13. 町の自然もずいぶんと破壊されて無残になっていますがまだ残っている自然を活かして漁協を連携して海の自然や生物を大切に保存することが重要かと思えます。
14. 孫が実家に来た時は、海に畑に体験させている。自然体験です。
15. 移住者を受け入れようとする町(職員)の意欲がみられない。本心受け入れたいと思っているのか疑問である。町が真剣になれば、町民もついてくるはず。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり)

【モニターつづき】

■具体的な要望等

16. 活動していても、役場関係者の姿が見えない。
17. 総合計画の議論でも、自然や観光を重視した南知多の特色を出すべきだとする意見が多く出されました。この点での施策や予算が不足しています。現在公募している施策でも予算や内容への制約が多く、らに強化する必要があります。

■抽象的な提案、意見等

18. 離島はとても住みにくい。オープン過ぎて、プライバシーがない。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり)

【自由回答調査】

■抽象的な提案、意見等

■具体的な要望等

19. 太陽光パネルや、風力発電、大規模事業の参入は、自然を破壊し、自然豊かな風景を壊すため、誘致するのではなく、作らせないことを強く願う。
20. 美浜町のオレンジラインのように、南知多の自然豊かな里山を歩くハイキングロードを整備してほしい。そして、それをもっと宣伝すればいいと思う。
21. ソーラーが里山を壊しており強く懸念している。災害時の雨水が河川の氾濫に繋がらないか、雨水計画は大丈夫なのか。東浦町では国の里山保全の補助金を利用して一部地域の保護を行ったと聞いたが、南知多はそうした対策はしないのか。緑豊かな南知多がソーラーだらけになってしまう。町から県にも訴えてソーラーを拡大させないで欲しい。15年20年後に企業が倒産したらソーラーパネルの処分は町がするのか。
22. 豊田市旭地区で実施されている「ガキ大将要請講座」のような、親も子も自然(里山)の中での生きる術を学べるような機会があればいいと思う。町内外にこの地域の魅力を伝えることができ、人口維持、増加に役立つと思う。
23. 安全に自然に接するエリアを作り、エリア内には太陽光発電などはできないようなルールを作る。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 伝統行事の存在理由を知らずにただ続けている、みんながやってくるから自分も祭りの手伝いをしている、という人は多い。伝統の維持は「その町の住人である」というアイデンティティに繋がるので、押しつけがましくならないように、その意義を認知させたい。
2. 家族で祭りの参加をしているが、人数が少なく準備の負担が大きい。継承しつつ、有り方を変えていかないと存続は難しいと感じています。
3. やはり小学、中学の教育が重要で地元の産業と将来性に取り組むことを考えるように促し、将来的にUターンしやすいような土壌を創っていくのがよいかと思えます。伝統行事は人手不足を考えて省力化、簡素化はやむをえないが歴史や意義を伝えていくことが重要かと思えます。
4. 自身は「農」を要に地域活性化を専門に学び研究していました。だいぶ経つので古い知識ですが、地域を活用して、人も物事の流れも豊かにしたい！精神的な豊穡を今でも目指しています。この南知多にはたくさんの豊かさの原石があります。磨き方次第で大きなソーシャルビジネスになると見込んでいます。なので、価値観の多様化がすすみ、個人が優先される昨今においても地域の伝統的行事へ参加したり、人脈を拡げてきました。そのなかで、課題をたくさん見付けることができました。豊かで実った心の住民が多いからか、助けられてばかりで、どんなに行政サービスに不満でも踏み止まり子育てをするのは、この地域独特の雰囲気のおかげです。ただ、出ていく理由も十分わかります。
5. コロナ禍しているので、スポーツは大事ですが、やはり密やでかけるとなると中々出来ないこともある為、子供たちは授業(体育)などでヨガなどを教えて、心や体を動かす事を大事にして休まる体作りをして欲しいです。小中保育で取り組む方法で。
6. 区の男性だけで準備を進めると旧態依然で伝統行事がただのやつつけ仕事で、工夫も情熱も無い。祭りや盆踊り特化委員を推進させてほしい。区が考える事だが・・・。
7. 地域の歴史をもっと知る事が出来る場所、機会があれば。
8. コロナ禍で地区の祭礼や地区運動会等、子供が参加していた行事が2年に渡り中止となりそうです。去年は祭りは開催しても神事のみ齋行され、住民、子供が参加する奉納行事は中止、今後のコロナ禍次第で神事だけの祭りが定着するのではと危惧される。
9. 全てを通して厳しい予算の中よくやっていると思います。
10. 町が実施しているスポーツ教室に毎週参加している。安くて健康維持に役立っている。沢山の種類の教室開催をお願いしたい。
11. 補助金を出しているだけで、具体的な指導が見られない。それぞれの団体や協会にどれだけ町の指導が生きているか疑問だ。また、スポーツや活動の地域への広報が、広報紙のほんの少ししか割り振られないし、毎年同じ内容しか掲載されない。足で書く広報紙でありたい。

■抽象的な提案、意見等

12. ごく一部の人のために無駄な支出をしないこと。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

13. 素晴らしい海の文化財があるのに、閲覧し見学する場所があまりにも可哀想。なんとかありませんか
14. 祭りなどの伝統文化が、地域の人口減少で維持できないのであれば、もっとオープンにすべき。他地域、町内外、日本、世界からも、参加できるような仕掛けを考えて、維持していけないか。
15. 現総合体育館は、内海在住者にはアクセスしにくいいため、活用しづらい。
16. 子どもたちの、スポーツの選択肢を増やすには、それなりの設備や講師が必要。
17. 美浜町のように、日本福祉大学との連携を強めてほしい。もしくは、美浜町との連携を強めるべき。
18. 芸術やスポーツは生活に質を向上させるが、好みや生活に余裕が無いとできない。地域のお祭りもコロナを理由に縮小しても大きな不満はないみたいなのは、もともと不満があったのではないか。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-1 豊かな海と産物を活かした水産業)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 某、魚介捌きYouTuberのように、この町に有益な情報発信をしたい。個人のSMSではよく掲出している。漁獲→生け簀→魚屋で刺身→自宅で食べる。これに馴れて離れられない。
2. 魚ひろば建て直し(拡大)、飲食店多数設置など。マルシェもやる。
3. 育てる漁業を漁業組合と連携して養殖可能な魚介類を育成して、地産地消や観光業との協業、就労人口増加を目指してもらってはどうか。
4. 漁協、市場の統合。
5. インターネット発信で、地元の人より他県、他町の人の方がよく知っているようだ。情報(SNS)を発信する。自分たちが地元の魅力を知ること。
6. 魚中心の食生活、できるだけ地元の新鮮な魚を食べるようにしている。年々種類によるが、漁獲量が減ってきている。漁師に聞いても原因がわからない。町や県で、原因を調べてほしい。魚がとれなくなれば、南知多町の存在価値はなくなり、限界集落になる。
7. 漁港にごみを捨てていかれる釣り客等が多いので、看板などをもっと立てキレイな港を目指したい。
8. 南知多町内であっても、地魚を出さない(養殖魚や冷凍ものを使って)飲食店や旅館がある。かたや地魚ふんだんに用いても立地などの条件でなかなか繁盛できないお店もある。地魚提供店・認定制度(仮)のようなものを作って、ランクに応じて(ほとんど地魚/だいたい地魚/一部地魚 など)認定マークを掲げてもらったり、専用のサイトやマップをつくったりするのはどうか。地魚を出さないお店

への意識向上の狙いもある。

9. 海岸清掃を行っているが、自分の活動がどれだけの価値があるが疑問に思うことがある。町は町民の活動を把握してほしい。
10. 最近の漁獲量の減少などの主な原因を、県などと協力し調査を行い、広く情報を伝えることが不安一掃と対策を打つカギになると思います。伊勢湾の埋立(第二滑走路計画)や、福島原発の汚水の海洋放棄など、町の”反対”態度表明など必要と考えます。
11. 漁業者の高齢化が進み、後継者不足は深刻です。漁港の施設利用者も減少し、いずれ漁協は存続の危機に陥ってしまいます。老朽化し、使用しなくなった施設もありますが、取り壊されず放置されて危険です。
12. 道の駅とか作ると良いと思う。

■抽象的な提案、意見等

14. 浜掃除。
15. 課題は毎年同じような項目が示されているが、各地区の取り組みや目標達成率等、卓上論だけでない、現場重視を望む。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-1 豊かな海と産物を活かした水産業)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

16. 栽培漁業も注力すべきと考える。

■抽象的な提案、意見等

18. 水産業あつての南知多だと思います。主要産業としてどうなっていくか。それがポイントになると思います。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-2 豊かな農地と産物活かした農業)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 地元野菜はヤナギの売り場ぐらいでしか買ったことが無い。地元農家の一覧(作ってる野菜やその連絡先)があると嬉しい。
2. 使われていない土地を移住者へ安くわけて、人口を増やす。
3. 農業を志す町民(または今後移住希望者)に、広く農業体験やこれらを照会する取り組みが求められる。特に現行の法規制など(緩和する特別措置など)を検討し、従事しやすくする。
4. 太陽光発電や風力発電の乱開発を止めさせる。農道の整備、点検をすすめるなどです。
5. 地域の農家さんから直接購入している。地域の農家さんは大変忙しく、儲かるような情報発信を自ら出来ない状態にある。需要と供給の交合しない部分をインターネットの活用で、生産物のロスをできるだけ少なくして収益を、上げるサポートをしたい。そこにWin-Winのビジネスモデルを構築したい。...という、創業の支援も国や県でたくさんやっているの、町でも広報や窓口としての役割を担って欲しい。
6. 道の駅設営。農産物等マルシェ出店しやすいものとする。JAとは別とし、カラーを新しいシステムで展開する。活性化のため。
7. 地産地消を条件とした市や店舗の誘致に力を入れてほしい。
8. 専業農家やNPOへの資金援助をお願いしたい。農業だけで食べていけるための援助を。
9. 兼業農家の離農がこれ以上加速すると、周辺農地や農道を維持できない。パイロット農地は大規模の専業農家が活躍しているが、

それ以外の農地が活用されていないし対策も不十分だと感じる。高齢化する兼業農家の離農を食い止めないと、その子供世代は職場がある他の地域に家を建て出て行ってしまう。基本施策2-6「価値ある産業を残す事業承継支援」には農業の後継者についての取り組みが無いようだが、兼業農家の後を継ぎやすくなるよう南知多独自の政策をして欲しい。

■抽象的な提案、意見等

10. 豊かな畑の場所はあるのにもったいないと思う反面、大変な仕事なので子供には安定した職を...という気持ちもわかります。大手企業が雇用し、安定化、活性化してほしいです。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-2 豊かな農地と産物活かした農業)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

11. 学校、保育所の給食に、もっと地元の新鮮で安全な食材を使う機会を増やして欲しい。野菜も、なるべく有機の安全な食材を使って頂けると嬉しいです。
12. 所有を望まない農地の売買の促進をしてはいかがか。農地版の空き家バンク。
13. 現場(農家、農協、流通、販売者)の声を直接聞くことが重要だと感じた。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 創業支援の窓口としてはほぼ機能していないと感じる。町からの広報は後手後手で、ただ上方機関と繋げているだけである。やる気のある起業家は行動が早いので、町が広報する前にとくに複数の機会やセミナーを押さえている。自身も様々な機関や起業、創業の行動を起こしたが、町の情報の遅さに申し込みの意欲が湧かなかった。観光地、自営業が多く、人を集めて収入に繋がる仕事が多いが、後継者不足は後継者の子育てに支障が出るから町から出ていくというもあるだろう。繁忙時に子どもを放置しなければならなかったり大変だからだ。ゆえに子どもを多く産み育てることも難しい。まず、受け皿がない故に嫁も婿も来ない。また、商工会はどうだ。形骸化した旧態のやり方のまま商工業者を縛り付けてはいないか。今、機能している有用な部分は税務会計の代行くらいだろうか。なぜ合併しないのか。町の補助金も無駄ではないのか。商工業者が財務面をデジタル化したら不要な存在にすらなるのではないか。
2. 3商工会が別々に運営するのは、メリットもあると思うが、デメリットの方が大きいと思う。
3. 後継者不足で店を閉めると街がさみしく成る。血縁関係でなくとも事業を継承、もしくは売買するM&Aのようなことを個人商店でも考えてみるべきだと思う。
4. ミーナの恵みのブランド力が弱い。イメージがしづらい。”太陽と海の恵みミーナ”とかならまだ想像できる。また名古屋に住む若い世代では南知多の名前すら知らない人も多い。ある調査で、九州地方に住む人にとって福岡県は北海道並にブランド価値のある魅力的な地域だとの結果がある。要はブランド価値を高めるのにやみくもに全国に手を広げるのではなく、同地域内(特に名古屋)にターゲットを絞って堅実に知名度を上げていくほうが結局のところ最も効率的であり、その副次的な作用として他地域へと波及してゆく、という方針でブランド戦略を立ててほしい。
5. ふるさと納税が町財政にも、事業者にもとても有効と考える。しかし、高齢者の多い事業所には取組みにくい。ふるさと納税に登録し終えるまでのサポートが必至(担当者を1人増やしても費用対効果は充分あると考える)。
6. 南知多みかん酒の販促。
7. 観光客や地域住民のための「みちの駅」など2~3カ所作るべき。南知多のスーパーや商店の物価は他の町と比べて1~2割高く、独占状態です。安価な商品(農産物や海産物)を提供すべきです。
8. ふるさと納税の返礼品の登録をもっと町内の事業者や自営業者に呼びかけて、パソコンが苦手な事業者へ町が写真や文章の用意を手伝うなど、登録のサポートをして欲しい。
9. 卒業生が町内で就職して、住んでみたい環境があまりにも乏しい。強烈的な定住に特化したアクションプランを望む。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-3 新たな魅力や価値を生みだす商工業)

【モニター調査】

■抽象的な提案、意見等

10. 味付のり、甘夏、ミーナコーンと地元産を送って喜ばれている。
11. 南知多特産品を時々購入しています。
12. コロナでも多くの方が南知多へ来ている。やり方を考えて、もう少し町内が潤うようにするとよい。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-3 新たな魅力や価値を生みだす商工業)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

13. 南知多町は自然が豊かにあるので、山地などにある樹木の葉っぱなどを使って産業を産み出す。葉っぱを料亭や神仏関連企業に販売をする。年配者でも仕事は可能であると思う。働くことで健康を維持できるのではないのでしょうか、また収入を得られて社会との関わりを感じられることで、生きがいも感じられるのではないかと思います。(例: サカキやシビキなどは神棚や神社、仏壇などに、南天や紅葉もみじ、笹の葉などは料理の飾りとして使っている。)

■抽象的な提案、意見等

14. 特産品も大切だが、町民の生活に欠かせない商店等の事業継続に補助金や人材のマッチングをしてはいかがでしょう。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-4 何度も訪れたい観光・交流)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 何度も訪れたいという持続可能性で言うならば、リピーターは少ないのではないかと。自身は全国各地を旅して、居住してきた。愛知県という地域柄だけでなく、この町もしばらくは肌に合わなかった。世間から10年くらい遅れた価値観とはきいていたが、郊外(本町)へ来るとさらに10年ほど時代や価値観が遅れているように感じた。令和に昭和の感覚を知ることができる。なので、旅館や観光施設の口コミや評価も全国から見たらそこそ低い。なかなか接客や清掃が酷くても、風光明媚な観光資源のおかげで人が来ることにあぐらをかいている。自身は各地で各種接客業にも従事し、高い評価を得てきたが、日帰りでの施設利用でも、社員教育(女将含む)ができておらず唖然としたことが多々ある。実際に旅館で従事したが、意識が低い。県民性が地域柄か仕方がないのかわからないが、遠方から見えるお客様は落胆されかねない。この町が好きで、この町にずっと住んでいる郷土愛、称賛します。しかし、外も見てください。普段はソレで良いですが、お客様を迎え入れる時は相手の需要を想像し、喜んでもらえるよう考えましょう。何度も来たいのは心に豊かさが得られる...というのは大きいです。どんなに魚が美味しくても、おもてなしができていなければもう来ません。どんなに嬉しくても素っ気なければもう来ません。どんなに美味しくても、トイレが汚いともう来ません。良いところには良いお客様が来ます。素っ気ない所には素っ気ないお客様が来ます。観光業全体で、おもてなしとは、本当の豊かさとはという研修が受けられると良いかもしれません。マネジメントしてくれるコンサルタントを町や観光協会が招いてもいいでしょう。最後に、グリーンツーリズムの概念は有効だと思います。農山漁村地域において心豊かな休暇を過ごす...と言った概念です。自ら都市部のお客様に楽しんでもらいたいという内発的力の大きい方に協力いただき、里山や農地、耕作放棄地を生かして、農作業や環境教育、ただ地域のもを食べながら自然の中でゆっくり過ごす時間を提供するなど、その辺の荒れた土地が町のためにもなるビジネスの舞台になるかもしれません。
2. 観光地にするのは大事ですが、観光客のマナーが悪い。後、道路や街灯、道に沿って木や草が生い茂っていて凄く危ない。美化、維持管理などしっかりやって欲しい。
3. お魚センターや道の駅など、新規のものしか発展の見込みはないと思う。
4. 史跡の保存をもっと区に働きかけてほしい。
5. 南知多には戦争遺跡や歴史的な遺跡がたくさんあるのに、埋められたり、放置されたままである。元山海小へ郷土資料が移転されたが、いつ整理され公開されるのか？
6. 師崎港のターミナル整備と駐車場までの進入路の確保(駐車場待ちで渋滞)。
7. 大都市名古屋を無視して南知多の観光を考えるべきではない。逆に言えば、名古屋の人々に呆れられているような地域にいくら他の遠方より観光客を呼びこんだところで絶対にリピーターにはならない。海や自然が豊かな田舎は全国にいくらでもある。それ以上に、車や電車での移動1時間圏内に人口数百万の大都市(しかも数年後にはリニア開通)が存在することが南知多にとって最高の"観光資源"であると素直に認め、それに沿った(アンケートや市場調査を頻繁に行い、ニーズを的確に捉える)戦略を軸とすべきである。と思う。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-4 何度も訪れたくなる観光・交流)

【モニターつづき】

■具体的な要望等

8. 道路の整備、車、自転車、バイク、走りやすい道。インスタ映えスポット。小・中学校(特に小学校)で、地域の事業者を巻き込んで地域の魅力を知って欲しい。
9. 南知多を一周しても、どこにどんな観光があるのか見えません。道並みに看板や案内板をもっと増やす必要があります。お寺巡りやサイクリング(ツーリング)愛好者の休憩場所(水、トイレ)などを増設し、観光をアピールする必要があります。

■抽象的な提案、意見等

10. 観光事業にもっと力を注いでいただきたい。
11. 斜陽化を実感している。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-4 何度も訪れたくなる観光・交流)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

12. 海は、南知多の最大の観光資源です。その地域だけの力だけでは観光整備はできません。もっともっと海の整備には力を入れて欲しい。内海なら家族連れが減った(外人が増え、夕方から夜は治安が悪い雰囲気)、家族も若者もまた来たいイベントや建物の整備。特にパラソルなどの貸し出しをしている人たちに助成金を出し、なるべく統一されたパラソルを購入してもらおうか。内海の海はハワイに似てるとインスタで見たことがあります。ワイキキを真似した町づくりなんかも面白そうです。
13. 町内にある全ての電柱を使った南知多町の宣伝(電柱全体を装飾して南知多町の観光や特産物などの宣伝をする。)
14. 町おこしの為に新しい事を始める人達に対して支援があってもいいと思います。移住してきた人や、こちらで事業をしようとする人に対してもう少し応援してほしいと思います。地元の人より町の為に動いてる人たくさんいます。
15. 子ども連れの観光客向けに、もっと子どもたちが充実して遊べる場所、例えばフィールドアスレチックや、ストリートスポーツが楽しめる場所を積極的に作っていくと、子どもたちが何度も訪れて来たくなる町になると思う。
16. 美浜町のオレンジラインのように自然豊かな南知多の里山のハイキングロードを整備し、観光にも生かすとよいと思う。一部桜公園や貝殻公園など、少し整備が進んでいるが、内海の里山にもとてもいい山道がある。ぜひ整備してほしい。
17. 八百津町との交流をもっと盛んにして欲しい。共同で商品開発するなど。

18. 町内の観光施設を町民が利用する場合の補助金を出す。地元を愛する事ができ、観光客を歓迎できる気持ちになれる。SNSでも発信してもらおう。町民からモニターを募集する。

■抽象的な提案、意見等

19. 続けられる観光と旬(流行り)の観光で言うと、後者のウエイトが高いと感じるが、前者も重要だと考える。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-5 新たなチャレンジを創る起業支援)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 「場所を選ばない働き方を可能とする技術的環境整備」のために、町としてインターネット回線の強化が出来ないか？また、町内の情報・データをネット上で開示してビッグデータ活用を行ったり、農業・漁業・観光などの各産業のICT・IOT活用を進めたりするなど、現代の時勢に合った施策をして頂きたい。
2. 士気を高める誘い入れ文句はあっても、手法や、当町内での事例、具体的な手続きの案内までは至っていないので、町内の先輩起業創業家のうち、ビジネス連携希望の先行者がいれば結んであげるのも行政でできないか。自身も同系統の創業者と繋がってより効率的にすすめたい。
3. 各地区の移住定住者地区の組織との交流に町がもっと積極的に介入しないと個人的な交流はあっても、公式な会合には声はかからない。彼らの意見や希望は反映されない。
4. 特に技術的環境の整備は早急に。また起業の際と起業後のサポート窓口もわかりやすい形で設置して、広く周知させてほしい。
5. Wifiがあれば南知多でも仕事ができるよう整備する。
6. きずなの会の役員をしています、メンバーは中高年ばかりです。若年層のメンバー加入が課題ですが、ボランティア＝無償では中々自分の生活でいっぱいいっぱいの若い人達にとっては無関心なのかもしれません。
7. ふるさと納税の返礼品の登録を兼業農家などにも呼びかけて

町が登録のサポートをして欲しい。兼業農家も良質な農産物(キウイいちじく柑橘類びわ等)を生産しているが、個別販売するノウハウを持っていないので安く卸さざるを得ず収入が少なく安定しない。ふるさと納税は登録さえすれば出荷が簡単なので、個別販売に不安を感じる生産者でもハードルが低く始められる。なのにパソコンが苦手だったり写真や文章を用意するのが苦手だったりという理由で登録に至らないのが非常にもったいない。南知多の魅力を発信するのにも低コストで最適だと思うし、付加価値を付けて販売できることを兼業農家さんにも知ってもらい、営農を続けてもらいたい。

■抽象的な提案、意見等

8. 外国人労働者をいれないでほしい。
9. 子供達も町外で生活。老人世帯には理解できないことが多いですね。
10. 自力でかなり(事業者)はやっている。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-5 新たなチャレンジを創る起業支援)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

11. 観光にまつわるものや、地元の人たち向けに楽しさや豊かさが増すような新規事業者を支援する制度があると、おもしろい町になると思う。
12. 食べ物以外にミーナブランドはないのだろうか？プラスチックとかは特産品にはならないのだろうか？
13. 官民共創プラットフォーム南知多町版の構築。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-6 価値ある産業を残す事業承継支援)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 町外からも人が来るように、ハローワークなどにも求人を出す。
2. 南知多町は、内海、豊浜、師崎と3つの商工会があるが、武豊町など大きい所では1つしかない。今後、小中学校など町全体として考えるのなら、商工会も1つにして、町全体として考えていかないと連携ができない。町が育たない要因の1つに思う。昔のしがらみを解き、新しい風をいれるべき。
3. 町内の事業者はもっとインターネットでの情報発信・SNS活用を上手に使いこなすべきだと思います。町内の情報をネットで調べようとしても、なかなか求める情報に行き着きません。現存のページについては、利用者目線での見直しをして頂きたい。また、事業者対象の情報発信・SNS活用講座の実施など検討されてはいかがでしょうか。
4. 必要な産業、事業所でも後継者がいないならば、吸収合併し買い取る会社もある。後継者不足の企業はインターネットで調べても見付からないことがあるので、具体的な企業情報を拾えるように、町のサイトでも外部委託でも認知されやすいようにする。
5. 廃業を予想している黒字企業と吸収合併、事業継承希望の者を仲買すると良いと思います
6. 現在でも取り組んでいるが、海無し県の学校の体験学習の受け入れを、町も積極的にサポートして、町の魅力を発信し、訪れた生徒が成長し再び訪れたいような事業とする。

■抽象的な提案、意見等

7. 町の観光協会の窓口対応がとても悪い。究極最大のサービス業ではないのか。(人によってか気分によってか、事業者をサポートしたいのか、疑問に思うことも多い。特におたから博は、どの予算を利用か、なぜ町外の人が講師になっていたり、町外が場所になっていたり、大きく取り上げられていて、町内事業者が入れないのかわからなく、とてもおかしい事だと思う。そもそもやる事多くて優秀な人材足りない。お金を無駄にしているから公募して欲しい。
8. 商工会の支援は外国人の支援に繋がっていないか心配です。
9. 金融機関を交えてのM&A、町も参加助言。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-6 価値ある産業を残す事業承継支援)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

- 10.小学生や中学生の職場体験を受け入れて、AIに負けない、必要不可欠な職業である事を知ってもらう。後継者に悩む事業者に対しては継承を前提とする従業員の賃金等を補助する。
- 11.全ての産業、頑張っている人の紹介。人材バンク(派遣ではない)を立ち上げ、情報として共有してはどうか。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-7 働く環境づくり)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 働く場所がない。働くには生活航路である観光船を使用しないと働けず、時間も決められ中々働きたくても働けないのが現状。(働くには、時間、お金、人材が必要)。
2. これくらい我慢すればいい、と職場環境の改善は後回しにされがち。IT導入、wi-fi設置など明確な目的に沿った補助金制度があればそれをきっかけに改善が進むと思う。
3. 「南知多町人口ビジョン」では、子育てしながら働きやすい職場づくりに「取り組む必要を感じているが取り組めていない、取り組んでいない」と回答した町内の事業所は70%以上にもなる。例えば愛知県がすすめる「ファミリー・フレンドリー企業」に登録すると、社労士のコンサルを無料で受けられ、中小企業融資制度の対象企業になれたり、金融機関から金利優遇され、自治体の入札でも優遇される。このような県の取り組みを利用して、町からも町内の事業所へ登録を薦められないか。役場や商工会にポスターや冊子を置いてもらうなど周知を。
4. 独特の男尊女卑の雰囲気価値観が男女共にあり、5,60代男性にならないと意見も言えず輝けない...町。「そういうのは男の人がやるからいいのよ」「女の人にやってもらうのがええ」「女の人にはこっちょ。掃除とお茶出し、洗い物...」聞き飽きました。ジェンダー分けたがる。子どもが生まれたからバリバリ働く？それぞれの人権は？職場の60代お偉い方の気遣いが的外れで噛み合わず疲れた事がある。風邪をひいた子どもと夫が休みを取って自宅にいるのに、「お母さんが居てあげなさい。休みなさい。旦那さんが可哀想だ。」...え？別の上司は年がら年中部下を罵り怒鳴り付ける。仕事が遅れる。マネジメント力もないのに妙齢の男性というだけで好き放題やれるのはこの町ならではの醍醐味。片や、仏のような社長会長がいる企業さんもあった。まだこの町も捨てたものではない。他は大概はえぐ味の強い企業だった。
5. 島民や観光者にも高齢者に優しい思いやりがあるまちづくりが必要と痛感する。
6. 人材不足により、外国人実習生に頼らなければならない業種も出てきている。異文化を理解し、地域の人たちとの交流も大切になってくると思う。
7. めちゃくちゃやっている。大学等で観光振興を学んだ人などを公募。

■抽象的な提案、意見等

4. 独特の男尊女卑の雰囲気価値観が男女共にあり、5,60代男性にならないと意見も言えず輝けない...町。「そういうのは男の人がやるからいいのよ」「女の人にやってもらうのがええ」「女の人にはこっちょ。掃除とお茶出し、洗い物...」聞き飽きました。ジェン

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策2-7 働く環境づくり)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

9. 廃校が増えるので、そういう場を利用して、地域貢献になる学びの場、憩いの場として、何かをしたい人に仕事の間を提供して、働く場を年齢幅広く募集したり、その告知を町と連携して行ったり、何が学びたいかを募集したりして、お年寄りから子どもまでが集える憩いの場、そこで生まれる働き場があると、みんなにとって良き循環が起こるのではないかと思う。
10. いわゆる弱者以外の人はいない。弱者の困り感を知る努力が必要で、町民に対しても、知ってもらう場を設ける。小さな事業者でも従業員や専従家族に対する福利厚生の大切さを知ってもらい、働きやすい職場を作ってもらい。長い目で見ればプラスになる方法を考えてもらう場を。
11. 官民問わず、働く環境について選ばれる理由に繋がる町内の事例を紹介してみてもどうか。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-1 まちと命を守る防災)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 観光の発信も兼ねてのことだが、南知多各地にライブカメラを設置してほしい。現在ネット検索では内海と日間賀に一か所ずつあるのが確認出来るが、山海や豊浜など各地それぞれに設置してほしい(補助金でもよい)。内海海岸の夕陽、豊浜市場のセリの風景、師崎フェリー乗り場の発着風景などなど...旅情気分をかき立てる場所に。そしていざ発災の際には各場所の被災状況をメディアに発信し、同情を誘い、義援金とボランティアを全国からゴッソリかき集めるのだ!
2. 他の地区は海拔の高いところに避難施設が確保でき、安全に対する施策がなされている。内海地区では、海拔の高いところに施設がなく、2次避難場所が不安である。住民の避難意識はしっかりしていると思う。我が家もいろいろな対策をしている。
3. 防災センターの有効活用(倉庫としてねむらせない)町民の日常的な活用利用を検討する。高浜一大井線(かるも保育園迄)の(川・側道の暗渠化を早急に行うべきです)避難道路になっていない。
4. 障害がある方や高齢者は津波到達までは時間があるので、発災後いち早く近隣のサポート受け皆で逃げる。町は避難所の充実を計ること。避難経路の整備。
5. 避難通路に指定された道路の整備、古屋の倒壊が危惧される。外国語の津波避難標識、道路案内板設置。

6. 巨大な津波が来たら、南知多町はほぼ沈むと思います。地盤も緩く、海拔が低い所に住んでいる人がほとんどです。高台の避難所で生活できる施設等がもっと必要ですし、高齢者が多いので、避難すら困難ではないかと思います。
7. 保育園では保護者会が災害時用に全園児分のペットボトルの水を少量購入しているが、どこまでを町民側が負担するのか。そして行政が用意している備蓄分は十分なのか。災害時に避難所で使用するプライバシーが守られるテントなどの備蓄は十分にあるのか。避難所における授乳室の設置は乳幼児の災害時生存率や健康に大きく影響する。近年は液体ミルクが普及したが災害時に取り扱いが難しい。そういうノウハウを各避難所指定施設で情報共有できているか。

■抽象的な提案、意見等

8. 東日本大震災の後、とても強化されていると思います。
9. 必ず地震や、津波はくるからその後の避難所で困らないようにインフラの早期の復旧などをできるようにしてほしい。
10. もはや、てんでんこ。それぞれで備えて、発災時には避難場所へ早く逃げられる人から逃げれば良いと思っている。ただし、逃げろ!!と叫びながらご近所に知らせってから逃げる。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-1 まちと命を守る防災)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

■抽象的な提案、意見等

11. 地域の防災力が向上しつつあると思います。職員との連携も大切だと思います。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-2 つながりを活かした防犯)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 近隣は空き巣が多いが、年配のご近所さんや同世代家族が大概いるので地域の目があって良い。さらに防犯を考えるならば、防犯カメラ普及に補助金を充ててもらえると犯罪発生時にどこかの防犯カメラには撮られているかも。
2. 無償の交通指導員のボランティアを広く募集して子供の安全に目を配ってほしい。
3. 南知多町を特区に指定又は独立し、高齢者の事故を無くす為にカーシェアリングを解禁すべきだと思います。防犯は各家に防犯カメラの設置を進めるとよい。
4. 老人の病院や買い物などの交通手段を町が保障すれば、免許書返上も進み、交通事故も減ると思う。
5. 安全登校のために、横断歩道に毎日、父兄や地域組織の役員さんが見守り誘導して下さる。毎日であり大変な負担である。篠島にも交通指導員の配置を希望します。
6. 町内の循環バス増やしてほしい。乗り合いやタクシーとか。

■抽象的な提案、意見等

7. 犯罪発生件数が少ないならば、逆にそれをもっとアピールしては？安心安全なまち＝南知多のイメージを高めることで町民がそれを誇りに思えるようになれば、自然と意識も高まるのでは...たぶん。
8. まずはあいさつ。
9. 施錠にたいする意識は低い地域だと思う。安全な町であるという意識が高い。
10. 空き家対策の重要性、防犯にも通じます。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-2 つながりを活かした防犯)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

11. 高齢者の運転免許証の更新を厳しく判定してほしい。本人が納得しない限り、家族の意見は聞き入れない方が多いのでは。警察がダメと言ってくれば親子で助かる。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-3 資源を活かす土地利用)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 空き家が増えることは、治安も悪くなると思う。他方からの移住者や、活用したいと思ってくれる方への特典を考えたらどうでしょう(固定資産免除とか)。
2. 週末田舎暮らし需要に応えるセカンドハウス(別荘ではなく)など、ピンポイントにターゲットを絞っての売り出し。その際購入者の税制面も優遇されるように取り計らうなどwinwinの関係になれるよう考慮する。
3. 特定空き家になる前にどうするかを個人で決めておく。必要性をもっと理解してもらおう。情報発信が重要だと思います。
4. 居住できる基準を満たす空き家がなく、空き家バンクもしばらく物件をみかけない。土地も値上がり始めているからかめっきり空き家バンクで見ることが減った。時代の流れとして注目されている空き家バンクだから、もっと登録があっても良いようにおもうが、駐車場や、太陽光発電施設にされない保証はないので、その後の利用まで指定して欲しい。「家を建て住むこと」と。せめてある程度便利な内海だけでも下水道整備や新興住宅地整備、誘致などはできないか。デジタルインフラの整備もすすむといい。そうすると、子育て世代がとりあえず住みに来るのではないか。リモートワークができる家庭では魅力的な土地ではないだろうか。
5. 人口増加は全国的にゼロサムゲームで難しいので住みやすい町にしたらどうか。宅地を整備し、景観のよい「～ヒルズ」のように。道路も整備する。
6. 膨大な数の空き家や、空地の調査を町として本格的やって欲しい。
7. 空き家バンクの利用方法を多様化可能とし、リホーム費用の助成金を助成し、定住期間を設定し満たした借家人は、返済免除として定住者の定着をめざす。
8. 隣家も空き家であり、地域の空洞化に対して危惧している。草刈りを自主的に行っているが、建物がいつまで耐えられるのか心配である。我が家も高齢化しており、10数年後には空き家になることが予想される。整理を始めてはいるが、不安は尽きない。内海地区は、新築家屋が多い方かと思うが、豊浜や師崎は過疎化が目立ち心配である。
9. 空き家が多くて通学路が心配。
10. リホームなどの支援など色々あるのであれば島民の方に進めて教えて頂きたい。(補助)島外からも大事ですが、島民の方に補助制度などあれば。
11. 家を建てたくても道路の規制で建てられないとか、従来の地域が活用できないのは過疎を助長している。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-3 資源を活かす土地利用)

【自由回答調査】

■抽象的な提案、意見等

■具体的な要望等

12. 空き家バンクに、紹介だけでなく、移住者むけのフォロー窓口があると良いと思う。
13. 空き家バンクだけでなく、耕作放棄された農地を農業利用で借りられるように農地バンクの取り組みもして欲しい。
14. 移住者支援は、住む家(空き家バンクの紹介)だけでなく、暮らしの困りごとへの相談や地域や関係機関と結びサポートするワンストップ窓口が必要だと思う。
15. 相続登記の促進。相続人が不明な空き家を町が処分できる制度をつくる。建て替えを前提に安価で売るなど。
16. 人口の減少の、歯止めがかかる対策が必要で、結婚して、住みたくても、南知多町には、あまりなく、町外へ出る人が多くなる原因は、交通の便・子供の学校の通学の事情・土地が高くて買えない、新築も自分では資金もない、といった事情も多々あるのではと思います。まずは、住み続けられる環境のある、地域作りが必修だと思います。取り分け通勤のための経費がかかる、原因の解消の基本構築が優先される、ことが重要だと思います。空き家を、増やさない為にも。
17. 今後も増加するであろう空き家問題、特定空き家への対応策について官民共創の視点で取り組みたい
18. 土地の価値の急減のなか、どう土地を使っていくか、皆で考えていくべきだと思います。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-4 安心な暮らしを支えるインフラ)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 道路、街灯、道の両サイドなど美化して頂きたい。木・草など生い茂っていて凄く危ない。夜街灯も見づらいしついていない。
2. 篠島では集落道路での車両による島内一周がまだ未完成である。災害時や道路陥没等があれば通行不能となりえるので、早期に長浜地区の道路工事の推進を願う。
3. インフラと”デザイン”を両立してほしい。無機質なインフラ整備はやめてほしい。行政と施工者が南知多の観光地としての共通意識を持てるよう、行政側から多少の遊び感覚を持ってでもいいので働きかけてほしい。
4. 地主が住んでいない土地が増えて、管理されず住んでいる人の負担や迷惑感が増している。解決策は①土地を持つ人は管理が必至で、しない場合は管理費を徴収または請求し、草刈り費等に回す。②地元住民がボランティアで町をきれいにしようと思ひ意識を高める等。山を削って太陽光の町にして欲しくないが、平地を町が買って太陽光等利益確保し、それで山も買って、その整備費に回す等。
5. 海岸のごみ対策。①災害による流木やごみ。②観光客や釣り客へのごみ処理の徹底などを進めてください。
6. 水が不味すぎる(塩素すごい)ので、老朽化した水道管を更新して欲しい。下水道がんばって欲しい。公共施設更新のために予算積み立てしてほしい。一人一台タブレットの実現。各家庭でも

防災無線も確認しやすくなる。役場で手続きするような事も手元でできて、生涯学習もできてしまう。

7. 島に橋、河和までの電車があればいいのに。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-4 安心な暮らしを支えるインフラ)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

8. 地域のものに勝手に手をつけてはいけないと思って困る場面が多いです。何が良くて何がダメなのか、広報に書いてあるとわかりやすい。
9. 海岸のゴミもひどいから、ゴミゼロ運動だけでは足りない。もっと、機会を増やし、その参加者には、ゴミ袋の配布があったりとお得があって参加を募ったり、観光客にゴミを捨てていかないように学校でポスター作成を子どもたちにしてもらい働きかけをしたり、町全体が美しくクリーンで住んでみたい町になると良いと思う。
10. 町には、ゴミが放置されている場所がたくさんある。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-5 暮らしを支える地域公共交通)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 海っ子バスの対応が悪い。島への物を運ぶ際、停めるところがない為不便。
2. バスは、船との時刻表を調整して欲しい。船、特に学生は島に高校がないので無料とするか、終便をもう少し遅くして欲しい。未来ある子どもたちが、住んでいる環境で何かを犠牲にするのはいかがなものか。
3. 難しい問題です。人口を増やすか、時間帯で使う車両(海っ子バス)を変えてコストダウンかそして配車を増やす。
4. 島民の本土への通学、買い物、通院など、現在の回数券を増やすこと。定期への補助の増額を行うこと。(町を離れていく要員の一つにもなっている)。
5. 役場や子育て支援施設にアクセスしやすい公共バスがあればいいのに。内海から役場の直行便がない。子育て支援センターは僻地。電子マネー使いたい。
6. 生活航路(観光船)料金が安い。補助の券も全然足りていない。どういう割合で割引券を出しているのか教えて頂きたい。必要な人、要らない人アンケートなどをとったりしてはどうでしょうか。
7. 海っ子バスを小型化して本数、ルートを増やしてほしい。
8. 河和までの距離が本当に面倒。だからみんな出ていくのだと思う。

9. 鉄道駅の有無がこれほど大切であることを、過去の指導者たちは気が付かなかったのだろうか。内海駅があることで、内海地区は恵まれている。積極的に公共交通機関を利用している。バスも停留場が増え、利用しやすくなった。
10. 電車が無いうえに、有料道路で料金を払わないとどこへも行けないため転出したい。
11. 名鉄海上観光船の船賃が島民には大きな生活出費の負担である。
12. バスの利用者が少ないとは言え、時間帯により1時間に1本しかない、非常に不便だと思います。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-5 暮らしを支える地域公共交通)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

13. 高校生の通学圏を考慮した交通手段を確立しないと、転出したくなる。
14. 公共施設の再編と同時に交通網(路線バス、海上交通)の見直しを同時に検討したい。町の玄関口、内海駅を中心に。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 自身が貧困母子家庭育ちなので、近所のわけあり家族やハンディキャップがある子どもの世話を買っていて、パートナー(家族)の損得勘定や有責事項が発生したら...など詰められると善意での共助も制限が出るうえ、消耗するばかりで疲れることもあり、ここは行政の担当なのでは?と思うこともある。
2. 2-5と重複するが、島外者をよそ者と捉え、容易に仲間と認めない風潮がまだ残る。定住者との公的連携は町とか、地元なら漁協組合からの仲介が望ましい、島内の定住者は増えている。
3. 地域の自主的な町づくり。町民が活用できる広場づくりなどの運動と町の支援が必要です。また、従来からの継続事業の予算増(R3年は減額されたものもある)進めてください。
4. 役場職員が男女共同参画の研修を受けて欲しい。そして女性職員がもっと活躍できるよう、家庭の負担が大きい職員でも活躍できる働き方改革・意識改革を、役場から始めて欲しい。あらゆる会議、委員会、意思決定できる役職においても、女性の割合を増やすための取り組みをして欲しい。

■抽象的な提案、意見等

5. 移住者に対して、地域との関わりが強制的なものに感じられないように気を配ってほしい。あくまで緩い付き合いで、またそれを尊重する。ギブアンドテイクが基本だがギブギブギブアンドテイクくらいの意識が今どきはちょうどいいらしい。

6. 流行りの田舎暮らしの注意点でもある、地域行事が多いところは避けるとなっています。最最小限としたいです。
7. 移住者の子供が学校教育を放棄しているのを知っているのか? 移住者を入れても学校の児童生徒数が増えていない。
8. 町の中で楽しめること、南知多だから楽しめることをみんなにシェアしてもらおう。
9. 広報紙以外でも、積極的なアピールが必要。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ)

【自由意見】

■具体的な要望等

10. 自治振興費が何に使われているのかを、その地区の住民は分かっているか？
11. 区、まちづくり、自主防災などなど乱立した組織の再編成が必要と考える。地域にどれだけの組織があるか把握することから実施してはどうか。

■抽象的な提案、意見等

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-7 心と体安らぐ自然・住環境)

【モニター調査】

■具体的な要望等

1. 中小の事業者エコレジ袋導入支援をお願いしたい。住民にももと意識を高めてもらいたい。
2. 町内の公園やハイキングコースに案内板の設置や整備を進めてください。(美浜町はよくやっています)。
3. 緑や海に囲まれてるだけで、気軽に行ける緑地や磯がない。遊べる整備された里山もない。持ち主が手放したがっていて、かつ、アクセスの良い里山、林、放棄地があれば、整備し、町の公園として利用できないか。
4. 前のページにも書いた通り、道路、街灯、道の両サイドの木・草が生い茂っていて危ない。該当見えずらい、ついていない。道路ガタガタ。観光客のマナーが悪い為ごみが減らない。
5. 竹藪が広がりすぎて、道路に倒れてきている。整備の促進と竹の有効活用に力をいれてほしい。

■抽象的な提案、意見等

6. シルバーの活用。
7. マナーが悪い人が多い。
8. ごみの分別が増えたためみんな困っています。ごみの世話をしている暇がない世の中なので勘弁してください。

9. 新しい決まりや、規制等も決まる迄はもの凄い抵抗と、やれない、決められない理由が飛び交うが実施されれば不満も残るが対応している。前浜道路の路駐禁止は、尊い子供の犠牲が無駄駐車を一掃した。

町民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

町民意識調査の回答結果(施策3-7 心と体安らぐ自然・住環境)

【自由回答調査】

■具体的な要望等

10. もっと、海岸などの観光場所をきれいにクリーンアップすると良い！住民に参加してやってもらう機会をゴミゼロ以外に年に何回か行ったりして、代わりに、参加者には、参加特典があったり、観光客にゴミを捨てていられないようなポスターがあったり、学校の子どもたちを巻き込んでもっと行い、子どもたちの意識にゴミをなるべく出さない社会が思い描けるようになったらいいな。
11. プラスチックゴミによる海洋汚染や二酸化炭素排出などに対する対策を小さな町でも本気で考えるべき。焼却場をなくしている町もある。持続可能な地球環境についての発信をしてほしい。
12. どうしたらゴミが減るのかを町民から意見を募集して、フィードバックする。小学生に分別を知ってもらい、家族に話してもらう。

■抽象的な提案、意見等

13. 地縁は強みであるが、共助の考え方について世代間で違いがある。自助と公助だけにならないような支援が必要と考える。